

# 一心太助の天秤棒 ～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担いで売り歩く～

越谷市議員 白川 ひでつぐ  
シリーズ/NO 131号



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

## 駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来6期20年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝の駅立ちは、通算4100日を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前の様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

YouTubeの白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は255名を超えました。引き続き配信を継続していますので、これまでのご協力に感謝し、更にご登録をお願いします。

チャンネル登録



## 今年で20回目の新年街頭市政報告会

2024年の幕が上がり、これまで毎年取り組んで来た、元旦、2日、3日の新年街頭での市政報告会を開催した。

今年の元旦は4年ぶりに「元旦市民マラソン大会」の開会式が午前8時30分から、増林の越谷市総合体育館で開催されたため、参加した。会場には1000人を超える市民ランナーの中にはコスプレ姿の市民グループも散見された。

競技としてのマラソン大会ではないため、タイム計測や表彰はないため、市民はそれぞれ思い思いの姿勢で、10kmを始め4つのコースをスタートして行った。

元旦らしく青空が広がり、柔らかな日差しに包まれて一年がスタートした。

一旦帰宅した後、午後2時からせんげん台駅

東口で、12月越谷市議会の街頭報告会に取り組み、午後3時30分からは会場をせんげん台駅西口に移動して午後5時まで開催した。

市議会の報告とともに新年のあいさつを交えて実施したため、多くの市民の皆さんとご挨拶をさせて頂いた。

すでに現職を引退して正月を迎えた高齢男性をはじめ、通常朝の駅立ちでお会いする女性等カンパを頂いた。

また、事前に私のフェースブックで市政報告会をお知らせしていたが、それを見てわざわざ西口から東口まで出向いて頂き、カンパを頂いた市民もおられた。

1月2日の午後2時から越谷駅東口で、1月3日同時刻に新越谷駅東口広場で第32回、第33回駅前市民対話集会を連日開催した。

両日ともチーム白川の市民メンバーもYouTubeのライブ配信の撮影スタッフや市政レポートの配布のため正月返上で参加して貰った。新年の活動の始まりに相応しい3日間ではあったものの、例年お雑煮やおせち料理を楽しむのは、3日の夜となるため正月気分はこの時からスタートする。(元旦、2日、3日)

## 華やかさに溢れる二十歳の集い



1月7日午後1時から、越谷市立平方中学校体育館で開催された「越谷市桜井地区二十歳のつどい」に来賓として招かれた。

「成人式」という名称から「二十歳につどい」と改名されたのは、有権者の年齢が18歳に引き下げられた事からだ。

対象者は桜井地区に居住している329名で、その内254名が参加しており、会場には晴れ着姿の女性やスーツ姿の男性が着座している中で式典が始まった。

今回から市長からの祝辞は、ビデオメッセージで会場設置の大型モニターで配信された。

式典が終了すると催し物として恩師の紹介や抽選会が開催され、全ての進行は当該の二十歳の男女が担当していた。

参加したほぼ全員の女性は、色とりどりの振袖姿で、帯ともあいまって、実に華やかな空気が会場を埋め尽くしているため、正月気分満載となった。(1月7日・日曜日)(裏へ)

## 目の前で倒れた貧血の女性の介抱

今朝の駅立ちは、越谷駅東口で午前6時前からスタートした。

午前5時30分過ぎには、駅に到着して街宣用具の搬出やセッティングの後、駅前周辺の清掃を終えて市政レポートの配布を開始した。

何時もの様に馴染みの市民に市政レポートを手渡ししながら、市民から、明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします、との挨拶が受けることが多かった。

午前8時頃、私が立っている所から10m先の歩道に女性が倒れこんでいるのを見つけた。

直ぐに歩み寄ろうとしたら、30台の女性がすでに声をかけており、私が近づいていき二人で話しかけた。

弱弱しい声で、貧血で倒れています、薬を自宅に忘れて来ました、と話された。

取りあえず、タクシー乗り場にあるベンチに二人で両腕を抱えて移動したのだが、ベンチには真ん中に仕切りあり、横にはなれない状態が続いた。

冷たい風が吹いており、このままでは回復しないと判断して、近くのコーヒーショップの中に移動して椅子に座ってもらったが、小さな声でバックの中に薬があるので探して欲しい、との事で白い錠剤があったので、これですか、と尋ねたらそうです、との返事だった。(薬を自宅に忘れて来たとは違っていたが、気が動転していたのだろう)

私は水の手配に30台の女性はホットミルクを注文して持って来て頂いた。

この女性に勤務時間は大丈夫ですか、遅刻するので出勤して頂いていいですよ、と声をかけると暫く様子を見ておられた後、店を出ていかれた。

しかし、貧血の女性は薬を飲んだ後もテーブルにつっぷしてじっとしている状態が続き、運ばれて来たテーブルの上のホットミルクをこぼしそうになるので、もう一つの椅子に置きなした。

すでに30分近くなるので、顔見知りの店員さん(早朝から開店準備の作業をされているので、いつの間か挨拶を交わす仲になっていた)に事情を良く話してあまりに起きなかつたら起こしてあげて下さい、と伝言して店を出た。

暖かな場所で薬を飲み、万が一の時にも店員さんが対応して頂く環境なので、その後回復されているはずだ。(1月17日・金曜日)

## 市長公用車の使用は、法律で決まっているのか？

今朝の駅立ちは、せんげん台駅西口で午前5時30分前から開始したが、気温がかなり下がっており、この日も一緒に行動してもらっているチーム白川の吉田理子さんも寒い、寒いを連発するほど。私も彼女も防寒着は勿論、ホッカイロを体に身に着けて寒気対応の上市政レポートの配布を始めた。

午前8時頃高齢男性から声がかかった。市長が使用している車は、法律で決まっているのか、と尋ねられた。あー公用車ですか、それは法律では決まっています、と答えた。

すると、法律ではないのか、法律ではないのかと繰り返して尋ねられた。

はい、法律ではありません。決まっているのなら条例だと思いますが、恐らく慣例で使っていると思います、と返事したら。納得がいかない顔付きとなっておられた。

そこで、人数は少ないのですが、公用車を使用せず自転車や電車で移動される市長もおられますし、私用の場合は使わないのが一般的ですが、と付言した。

それでも納得顔になっていなので、勿論公用時に使用する規定だと思いますが、安全確保のためには公用車の使用が必要だと私は思いますが、と話したら無言で立ち去って行かれた。

公用車の事では、その使用目的も限定されなければならないが、時々その車種や購入金額が問題視されることがあるのだが。

(1月19日・金曜日)

## 吹田市のサステイナブル・スマートタウンを調査して来た

1月22日大阪府吹田市にある15の企業が合同して建設、運営しているファミリー向け、高齢者向け(サ高住)、単身向けマンションを調査してきたが、次回にその報告を掲載する。

